

中部広域リージョン 連携宣言

中部地域は、日本の中央に位置する中核的な広域圏として、今後、リニア中央新幹線の全線開業により形成される「日本中央回廊」や、北陸新幹線や高規格道路等の高速交通ネットワークを活用した「新たな交流圏」の形成による社会的・経済的効果を最大限発揮する地域づくりをしていく必要がある。

また、世界最強・最先端のものづくりを基軸に、日本海・太平洋の二面に拓かれたヒト・モノ・カネ・情報の対流拠点として、我が国の経済社会をリードしていくことが期待されている。

豊かな自然、固有の歴史・文化、ものづくりを始めとした多様な産業を有する中部地域の強みを活かし、これまでも、観光資源の広域的な活用による交流人口の拡大や、世界をリードする産業技術の進化に取り組んできたが、それぞれの県で人口減少や少子高齢化が進む中、東京一極集中を是正し、地域の成長やイノベーションを創出していくためには、県域を超えた官民連携による取組を強化する必要がある。

そのため、国の「地方創生 2.0 基本構想」及び「広域リージョン連携推進要綱」を踏まえ、今後、以下のとおり広域リージョン連携に取り組んでいくこととする。

1 広域リージョンの名称及び区域

名称：中部広域リージョン

区域：富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

2 構成団体の名称

富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市、静岡市、浜松市、北陸経済連合会、一般社団法人中部経済連合会

3 広域リージョンの目指すべき姿

「圧倒的な産業集積を軸に、イノベーションを創出し日本の経済をリードするとともに、世界にひらかれ、多彩な魅力を活かして躍動する我が国の中核的な広域圏」

ものづくりを中心とする産業集積をベースとして、官民の連携によりイノベーションの創出を促し、さらに産業競争力を高め日本経済を牽引していく。

また、リニア中央新幹線や北陸新幹線等の交通基盤を活かした新たな交流圏の形成や、豊かな自然や歴史・伝統文化、特産物や食文化、住みやすさといった多彩な魅力を活かし、国内外の多様な主体と新しい交流・関係を創造・拡充する地域を目指す。

4 取り組むことを想定する分野

中部地域が有する多様な資源と強みを活かし、まずは、産業振興、観光及び交通分野に取り組む。また、これらの活動を支えるため、若者や女性に選ばれる地域づくりや、県域を越えた防災・減災対策にも取り組んでいく。

令和7年11月26日

中部広域リージョン

富山県知事	新 田 八 朗
石川県知事	馳 浩
福井県知事	杉 本 達 治
山梨県知事	長 崎 幸 太 郎
長野県知事	阿 部 守 一
岐阜県知事	江 崎 禎 英
静岡県知事	鈴 木 康 友
愛知県知事	大 村 秀 章
三重県知事	一 見 勝 之
滋賀県知事	三 日 月 大 造
名古屋市長	広 沢 一 郎
静岡市長	難 波 喬 司
浜松市長	中 野 祐 介
北陸経済連合会会長	金 井 豊
一般社団法人中部経済連合会会長	勝 野 哲